

秦野市 防災マップ

一本町地区

地震時の避難場所

一時避難場所 (自治会避難場所)

大規模地震が発生した場合には、自治会の組やブロックごとに集合して安否確認を行います。防災マップ上に自分の一時避難場所を記入して確認しましょう。

私の避難場所

地震時の避難場所は、市内小中学校及びカルチャーパーク総合体育館の23カ所です。防災マップを見て、避難場所を確認しましょう。

家族の防災ルール

家族での話し合いと準備

災害時に家族があわせて行動できるよ、家族の防災会議で話し合い、家族一人ひとりの役割分担や対処方法を決めておきましょう。

ルール1 避難ルートを決める

家族で避難場所を確認し、自宅からの避難ルートを決めよう。不測の事態で避難ルートが使えない場合もあるので、複数の避難ルートを考えよう。

ルール2 役割分担を決める

避難に時間がかかる方の方支援方法を決めよう。避難するときは、張り紙や書き置きをする方法を決めよう。避難時に誰がどの持ち出し品を持ち出すかなどの役割分担を決めておきましょう。

ルール3 身を守る方法を確認

とっさの時に身を守る方法を家族みんなで確認しておきましょう。家族の多い部屋や少ない部屋など、家の中の危険な場所と安全な場所を確認しましょう。災害時に玄関がふさがれた場合に備え、玄関以外の避難口を考えておきましょう。

ルール4 持ち出し品の準備

災害時に家族で必要になる物について話し合い、準備のメカネや常備薬など個人で必要になるものも準備しましょう。持ち出し品や備蓄品の賞味期限、携帯ラジオや懐中電灯に故障がないか定期的にチェックしましょう。

ルール5 連絡先・連絡方法

災害時に家族が離ればなれになった場合に落ち合える集合場所を決めておきましょう。家族同士で電話がつかない場合に備え、知人や親戚の連絡先を決めておきましょう。災害用伝言ダイヤル「171」や携帯電話の「災害用伝言板」の使い方をみんなで確認しましょう。



秦野市で想定される地震

秦野市地域防災計画

秦野市地域防災計画は、災害対策基本法第42条第1項の規定に基づき、昭和40年5月21日に策定しました。現在、国の防災基本計画や神奈川県地域防災計画との整合を図るとともに、大規模災害の教訓などから、秦野市防災会議で検討を加え、必要な見直し・修正を行っています。本計画は、神奈川県地震被害想定調査で想定される地震のうち、発生寸の切迫性があり、特に秦野市において、大きな被害が懸念されている都心南部直下地震、神奈川県西部地震及び南海トラフ巨大地震を当面の目標として災害応急対策の充実を推進しています。

想定される地震による被害

神奈川県の調査を基にした都心南部直下型、神奈川県西部、南海トラフ巨大地震による被害想定は次のとおりです。

予想震度	都心南部直下地震 震度5弱～6強	神奈川県西部地震 震度4～6弱	南海トラフ巨大地震 震度5弱～5強
建物被害	全壊棟数 300棟 半壊棟数 2,840棟	200棟 500棟	10棟未満 330棟
火災被害	出火件数 10件未満 焼失棟数 30棟	0件 0棟	0件 0棟
死傷者数	死者数 20人 重症者数 30人 中等症者数 260人 軽症者数 410人	10人未満 10人未満 70人 110人	10人未満 10人未満 60人 90人

出典：「神奈川県地震被害想定調査」（平成25～26年度調査）

震度と揺れ等の状況 (概要)

地震の発生や緊急地震速報を見聞きした場合には、あわてず、まず身の安全を!!

- 頭を保護し、ドアを開け、玄関など安全な場所に避難する。
- あわてて外に飛び出さない(落下物や車が危険)。
- 揺れがおさまってから、あわてず火の始末をする。
- 門や扉、自動販売機のそばには近づかない。
- 運転中は、ハザードランプを点灯し、緩やかに減速する。

建物の耐震化や家具類の転倒防止など、自分の住む家や職場に備えよう!!

【震度4】

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下物は大きく揺れる。
- 重りの重い置物が、倒れることがある。

【震度5弱】

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が揺れることがある。
- 倒れていない家具が揺れることがある。

【震度5強】

- 物につかまりたいと多く人が感じ、恐怖を感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 倒れていない家具が揺れることがある。

【震度6弱】

- 立つていない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かないことがある。
- 棚のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、五が落下したり、建物が傾いたりすることがある。

【震度6強】

- はなれないと動くことができない。飛ばされることがある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものがある。
- 耐震性の低い木造建物は、傾く、倒れるものがある。
- 大きな地割れが生じた。大規模な土砂崩れや津波の発生がある。

【震度7】

- 耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがある。
- 耐震性の高い木造建物でも、傾くものがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものがある。

情報伝達方法

防災行政無線

地震の発生や緊急地震速報を市内の防災行政無線から放送します。



緊急速報メール

携帯電話向けの災害情報サービスで、住民の安全に関するさまざまな情報(台風、土砂崩れなどの自然災害の発生)を秦野市が市内に滞在する受発信機能を持つ携帯電話にお知らせするものです。なお、緊急地震速報と同様にメールアドレス登録が不要であり、専用番号とボブアップ画面でお知らせし、素早い情報確認が可能です。

登録制のメールではなく、強制的に皆さんの携帯電話にメールを送信するため、緊急性の高い避難情報など配信内容が限定されています。

市公式LINE

緊急地震速報メールで発信した内容や自分が住む地域の避難所、防災マップを確認することができます。アカウントをお持ちの方は、二次コードから友だち登録をお願いします。



危機管理ツイッター

防災・犯罪に関する情報を危機管理情報としてツイートしていますので、アカウントをお持ちの方は、フォローをお願いします。



緊急情報メール

市民の安全・安心を確保するため、緊急性の高い情報を携帯電話向けにメール配信しています。登録制のメールシステムとなります。登録方法については、ホームページをご確認ください。

緊急情報メールの登録
<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/100100001114/index.html>



自宅でできる地震への備え

室内の安全対策をしましょう

地震で家具が転倒すると出入口がふさがれたり、室内に物が散乱して避難の妨げになったりするだけでなく、下敷きになって命を落とすことにもなります。地震から身を守るには、家具の固定や配置の工夫など室内の安全対策が重要です。

家具

●L字金具やつっぱり棒など、家具を固定するようにつけよう。

戸棚・扉

●扉が開いたままの食器が飛び出ないように、留め金具を取りつけよう。

窓ガラス

●ガラスが割れた場合の安全対策として、飛散防止フィルムを貼ろう。

耐震マット

●粘着性やクッション性がある耐震マットで家電や家具を固定しよう。

ブレーカー

●停電が復旧する際の消火活動のため、感震ブレーカーを設置しよう。

スリッパ

●足のけがを防ぐため、身近に用意しよう。

防災カーテン

●火災時の燃え広がりを防ぐため、防火処理を施したものにしよう。

家庭で備えておく便利なもの

基本となる持ち出し品の例

災害時に救援物資が届くまで、最低3日間(推奨1週間)は生活できるように準備しておきましょう。避難所に避難することも想定し、持ち出しやすいようにリュックサックにまとめておいたり、保管場所をまとめておいたりすると便利です。

水	3日分(1人1日3リットルが目安) 飲料水とは別にトイレを流したりする生活用水も必要です。
食料品	3日分(ご飯、カップ麺、缶詰、ビスケット、板チョコなど) 食品用ラップ(保温などにも活用できます。)
生活必需品	トイレ用ペーパー、ティッシュペーパー、簡易食器、現金(小銭含む)、貯金通帳、印鑑、健康保険証、年金手帳など
貴重品	常備薬、ばんそうこう、包帯、消毒液など
救急用品	洗面用具、使い捨てカイロ、ウェットティッシュ、携帯トイレ、ハンドジェル、水を使わないもの(シャンプー、歯ブラシ)など
情報確認手段	携帯ラジオ、携帯電話充電器(できれば電池式のもの)、合わせて予備電池も備えておきましょう。
日用品	衣類、下着、タオル、毛布、使い捨てカイロ、新聞紙、レインコート、スリッパ、弾性ストッキングなど
筆記用具等	ボールペン、メモ帳、家族等の緊急連絡先、家族の写真など(家族の写真は、はぐれた時の確認用に活用できます。)
乳幼児	粉ミルク、哺乳瓶(消毒セット含む)、紙おむつ、おしりふき、抱っこひも、高密度ポリエチレン袋など
女性	生理用品、化粧品など
高齢者(必要な場合)	老眼鏡、補聴器(予備の電池含む)、紙おむつ、入れ歯洗浄、高齢者用食品(やわらかい食べ物)など
避難時用具	懐中電灯(予備電池含む)、ヘルメット、ホイッスル、数物、室内履き、軍手手袋、毛布又はブランケット、おもちゃ(子供用)など

ローリングストック法

まずはここから食料備蓄!

内閣府を会長とする中央防災会議が定める「防災基本計画」では、家庭での最低3日間、推奨1週間の食料備蓄の普及を図ることとしています。

家庭での最低3日間、推奨1週間の食料備蓄

備える

ローリングストック

買い足す

食べる

飲む

家族の健康に配慮
 高齢者、乳幼児、慢性疾患、食物アレルギーの方などに配慮した食料品を準備しましょう。

